

現代の

81

山川

歴総 708

歴史総合

みる・読みとく・考える

久保文明 中村尚史

深める歴史

テーマ・資料・問いで考える

1889

令和4年度用
(2022年度用)

山川出版社
内容解説資料

この資料は、
令和4年度用高等学校教科書の
内容解説資料として
一般社団法人教科書協会
「教科書発行者行動規範」に
則っております。

1804



1920s



1961



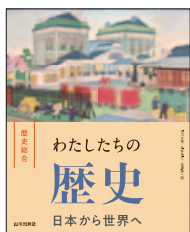
1969



1970



2019



山川出版社は歴史総合教科書を3種発行いたします

山川出版社



Message



久保文明
くぼふみあき
東京大学教授

「歴史総合」は、近代・現代を中心に、世界と日本の歴史両方を関連づけて学ぶ新しい科目です。

日本に住む若者として日本の最近の歩みを正確に知っておくことの重要性は、改めて指摘するまでもありません。なぜ明治維新や真珠湾攻撃は起きたのか。どのようにして民主主義が定着し、また繁栄を得たのかなど、知っておくべきことは数多く存在します。

同時に日本の歩みは世界の動きと深く結びついています。ペリー来航、日清戦争・日露戦争・第一次世界大戦・第二次世界大戦、昭和(世界大)恐慌など、例を挙げればきりがありません。第二次世界大戦終戦後も、占領、冷戦とその終結、2008年の金融危機、最近の新型肺炎問題など、海外とのつながりをもった事例はほとんど無数に存在します。日本が影響を受けた場合もあれば、日本が影響を与えた場合もあります。

日本人が感じている以上に、日本が海外に様々な形で影響を及ぼしていることがあります。第二次世界大戦終戦前までは軍事的な影響力もありましたが、その後は経済、文化、政治など様々な側面で、海外に影響を及ぼしてきました。

現代史は、現段階での人間の歴史の到達点です。同時に、歴史は今この瞬間にも作られています。人間は、そして日本は、これまでに何を達成したのか、これからさらに何を達成すべきなのか、そしてどの方向に歩いていくべきなのか。本教科書が、皆さんにとって、少しでもこのようなことを考える手がかりになれば幸いです。

現代の歴史総合

みる・読みとく・考える

歴総708
AB版 262頁

[編者]

久保文明 東京大学教授 中村尚史 東京大学教授

[著作者]

小田中直樹 東北大学教授	島津 聡 東京都立八王子東高等学校教諭
塩出浩之 京大准教授	高橋 哲 渋谷教育学園幕張中学校・高等学校教諭
島田竜登 京大准教授	津野田興一 東京都立日比谷高等学校教諭
守川知子 京大准教授	藤本和哉 筑波大学附属高等学校教諭
吉澤誠一郎 京大教授	山川志保 お茶の水女子大学附属高等学校教諭
荒木圭子 東海大准教授	株式会社 山川出版社



中村尚史
なかむらなおふみ
東京大学教授

『現代の歴史総合』は、高校生の皆さんに、歴史的思考を身につけていただくための教科書です。

歴史的思考とは、歴史的な事象を総合的・俯瞰的にとらえ、ある時代の歴史像を構築することを目指す思考方法です。この目的に接近するためには、一つ一つの史実の歴史的な背景や意義を、時代の全体状況をふまえて把握することが必要となります。歴史的思考は、過去だけでなく、現在の時代状況を的確に把握するためにも有用です。それは、不確実性が増しつつある今を生き抜くために必要なスキルと言い換えることもできます。そして、このスキルを身につけることは、私たちが歴史を学ぶ最大の目的でもあります。

歴史総合では、近代・現代に焦点をあて、世界と日本の歴史を密接に関連づけながら学んでいきます。この教科書では個々の歴史的出来事の理解を前提として、その背景や意義を立体的にとらえるための多くの問いをちりばめました。各単元では、世界との中の日本という視点で、それぞれの時代の全体像をとらえられるようになっています。時代の流れを縦軸、同時代的な国際関係を横軸とする主題学習によって、年表や用語の暗記ではなく、能動的に歴史像を構築する力を身につけていただきたいと考えています。

能動的な学びによって獲得した歴史的思考は、私たちに正確な現状認識と、次の一步を踏み出す勇気をもたらすに違いありません。

深める歴史 テーマ・資料・問いで考える

1 社会の特質や構造を捉える 44のテーマ学習 ▶p.8-9

- 各テーマは4ページまたは6ページからなり、本文は適切な文章量で簡潔にまとめられているため、資料の読みとときに多くの授業時間を割り当てられます。
- 本文は、日本と世界が相互に関連していることを意識できるような記述を心がけました。
- 導入からまとめまでの流れが分かりやすくレイアウトされ、スムーズに授業を展開できます。

2 深い学び、考える授業の実現 ▶p.10-11

- 写真・絵画・ポスター・風刺画など直感的に読みとけるバリエーション豊かな資料で授業準備を全面サポートします。
- さらに内容理解を促す資料として、文字資料・グラフ・新聞記事などを多数揃えました。
- 充実した地図や、日本と世界を比較できる年表もテーマごとに多数掲載しています。

3 グループワークに最適！ 様々な問いを設定 ▶p.8

- テーマの目標となる大きな問いから各資料に付した小さな問いまで、様々な学習活動に沿った問いを設定しています。順番に取り組むことによって、テーマが深く理解できる仕組みになっています。
- 問いは、適宜選択しグループで取り組んだり、生徒同士で意見交換することを想定しています。主体的・対話的で深い学びを実現します。

小社ホームページに「歴史総合教科書」特設サイトを開設しました。
2~3分程度の教科書紹介動画もございますので、ぜひご覧ください。

山川HP
歴史総合
特設サイト



ICT教育を サポート します

各章扉に設置した計16点の2次元コードは、NHK for Schoolの関連動画へとリンクします。生徒の理解を促進し、主体的な学びを促します。

教師用指導書付属データには授業用スライドや確認テストなどのデジタルコンテンツを収録し、授業準備をサポートいたします。 ▶p.22

さらにデジタルコンテンツをご使用される際には、9,000点以上の地歴公民コンテンツを定額制でご利用できる「山川&二宮ICTライブラリ」をぜひご利用ください！ ▶p.23

巻頭付録として、「歴史総合」で扱う以前の世界を同時代の地図で示しています。

目次

世界のつながり 4
2世紀の世界 / 8世紀の世界 / 13世紀の世界 / 16世紀の世界 / 18世紀の世界

第I部 近代化と私たち 12

1 交通と貿易 / 2 産業と人口 / 3 権利意識と政治参加、国民の義務 / 4 学校教育 / 5 労働と家族 / 6 移民

第1章 結びつく世界と日本の開国 18

1 18世紀の東アジアにおける社会と経済 20
2 貿易が結んだ世界と日本 24
3 産業革命 28
4 中国の開港と日本の開国 34

第2章 国民国家と明治維新 38

1 市民革命 40
2 国民国家とナショナリズム 44
3 明治維新 48
4 日本の産業革命 54
5 帝国主義 58
6 変容する東アジアの国際秩序 62
7 日露戦争と東アジアの変動 66

●近代化と現代的な諸課題 70
① 開発・保全 ② 対立・協調 ③ 自由・制限

各テーマは、世界と日本を関連づけて記述しています。

「資料を活用する技能を習得」し、課題意識をもたせるため「みづから問いを表現する」ページです。



- この教科書は「歴史の扉」と第I部～第III部で構成されています。
●歴史の扉①では、身近な事柄から日本や世界の歴史にアプローチしていきます。歴史の扉②では、資料の取扱い方について学びます。
●各部の初めには5～7つの事例について、資料と問いが設けられています。それぞれの資料をみて、気がついたこと、もっと知りたいと思ったこと、疑問に思ったことを書き出してみましょう。
●つぎの各章で、具体的な事柄を通じて歴史的新見方・考え方を学びましょう。
●各部の最後には「現代的な諸課題」のページが設けられています。各章で学んだことを振り返って、様々な観点から考えてみましょう。

- 【凡例】 1. 年代は西暦を主とし、日本の年号は()のなかに入れた。明治5年までは日本暦と西暦とは1カ月前後の違いがあるが、日本に関する年月は日本暦をもとにし、西暦に換算しなかった。改元のあった年は、その年の初めから新しい年号とした。
2. 文字資料はできるだけ必要な部分にとどめ、適宜、省略・現代語訳・表記の変更などをおこなった。
3. 国名は、つぎのように表記する場合がある。〔日本：日、中国：中、韓国：韓、アメリカ：米、ロシア：露、イギリス：英、フランス：仏、ドイツ：独、イタリア：伊、オランダ：蘭、ソヴィエト社会主義共和国連邦：ソ〕

年間指導計画例 (月/時数)

歴史の扉① 歴史と私たち 8
現代の私たちと旅 4月1
歴史の扉② 歴史の特質と資料 10
歴史資料とは何だろうか 4月1

第II部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 76

1 20世紀の国際関係の緊密化 / 2 アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭 / 3 植民地の独立 / 4 大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化 / 5 生活様式の変化

第3章 総力戦と社会運動 82

1 第一次世界大戦の展開 84
2 ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭 88
3 ヴェルサイユ体制とワシントン体制 92
4 世界経済の変容と日本 96
5 アジアのナショナリズム 100
6 大衆の政治参加 104
7 消費社会と大衆文化 108

第4章 経済危機と第二次世界大戦 112

1 世界恐慌の時代 114
2 ファシズムの伸長と共産主義 118
3 日中戦争への道 122
4 第二次世界大戦の展開 126
5 第二次世界大戦下の社会 132
6 国際連合と国際経済体制 136
7 占領と戦後改革 140
8 冷戦の始まりと東アジア諸国の動向 144
9 日本の独立と日米安全保障条約 148

●国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題 152
① 対立・協調 ② 統合・分化 ③ 平等・格差

動画にアクセスしよう!



本書掲載の2次元コードからインターネットを使用した学習ができます。2次元コードの使用にあたっては個人情報の扱いに十分注意してください。

「歴史的な見方・考え方」を促す基本的な問いをわかりやすく示しています。

第III部 グローバル化と私たち 158

1 冷戦と国際関係 / 2 人と資本の移動 / 3 高度情報通信 / 4 食料と人口 / 5 資源・エネルギーと地球環境 / 6 感染症 / 7 多様な人々の共存

第5章 冷戦と世界経済 166

1 冷戦下の地域紛争と脱植民地化 168
2 東西両陣営の動向と1960年代の社会 174
3 軍拡競争から緊張緩和へ 180
4 地域連携の形成と展開 184
5 計画経済とその波及 188
6 日本の高度経済成長 192
7 アジアのなかの戦後日本 196



年表 244 現代の世界 / 東アジア・東南アジア地域 表見返し
索引 250

地理総合との連携もスムーズな温暖化や天然資源の資料を巻末付録に掲載しています。

Thought bubbles around a student reading: 共通点や相違点は? どのような影響があった? 前後の時代と比較すると? どのような背景があった? 地域の違いは?

第6章 世界秩序の変容と日本 200

1 石油危機 202
2 アジア諸地域の経済発展 206
3 市場開放と経済の自由化 210
4 情報技術革命とグローバルゼーション 214
5 冷戦の終結とソ連の崩壊 218
6 現代の東アジア 222
7 東南アジア・アフリカ・ラテンアメリカの民主化 226
8 地域統合の拡大と変容 230
9 地域紛争と国際社会 234
10 現代と私たち 240

●現代的な諸課題の形成と展望 242

予備2 計70時間

地球温暖化が関係していると考えられる現象 / 石炭・天然ガス・石油・ウラン産地とエネルギー供給 / 世界の自然 裏見返し

Planar economy and its impact section with various images, text boxes, and a table of economic indicators.

テーマ全体の問い このテーマで考えたい事柄が問いの形で示されています。

導入図版と問い 問いをもとに読みといてみましょう。

テーマへのアプローチ このテーマを理解するためのヒントになる問いです。

年表・地図 このテーマに関わるできごとや、その前後の流れを確認するための年表や地図です。

資料と問い 本文に関連する資料です。問いを通して読みといてみましょう。

アルファベットのマーク 上段の資料に対応しています。

用語解説 ポイントとなる用語の解説です。

学習指導要領に沿った「歴史総合」の学習の流れ



歴史の扉①歴史と私たち 現代の私たちと旅

教科書p.8-9

「旅（観光旅行）」を取り上げ、日本での広がりや海外旅行が身近になった背景について学び、身近な事例のなかに歴史があり、世界とつながっていることに気づくようにします。



歴史の扉②歴史の特質と資料 歴史資料とは何だろうか

教科書p.10-11

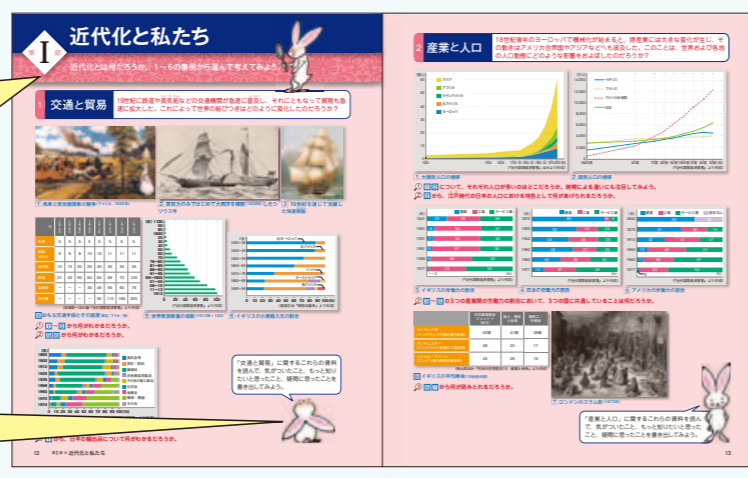
歴史資料とはどのようなもので、どのように活用するのかを、「大日本帝国憲法の発布」に関する様々な資料（公文書・絵画・日記・錦絵・新聞記事）を事例に学びます。当時の状況を知る手がかりとして、歴史資料の重要性に気づくようにします。



第I部 近代化と私たち (近代化への問い)

教科書p.12-17

学習指導要領「近代化への問い」で取り上げられている「交通と貿易」「産業と人口」「権利意識と政治参加、国民の義務」「学校教育」「労働と家族」「移民」の6項目について資料を豊富に掲載しています。授業では項目1つを選択し、資料を読みとく技術を培いながらこれから学ぶ「近代化」について、疑問や課題意識を持つようにします（これらの資料を活用したテーマ史の授業例は、p.12-13でご案内しています）。

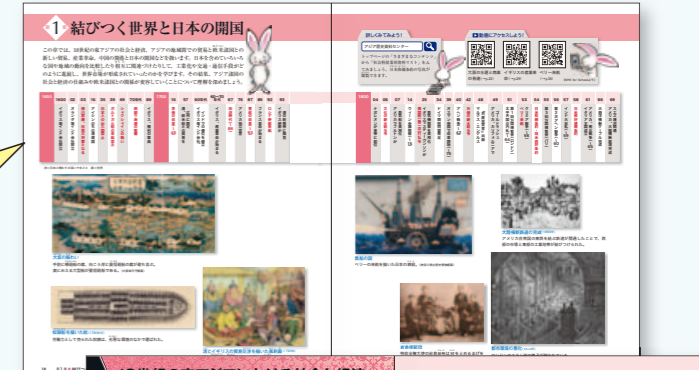


生徒自身に取り組んでほしい課題のページにはキャラクターを付し、ナビゲートしています。

第1章 結びつく世界と日本の開国

教科書p.18-19

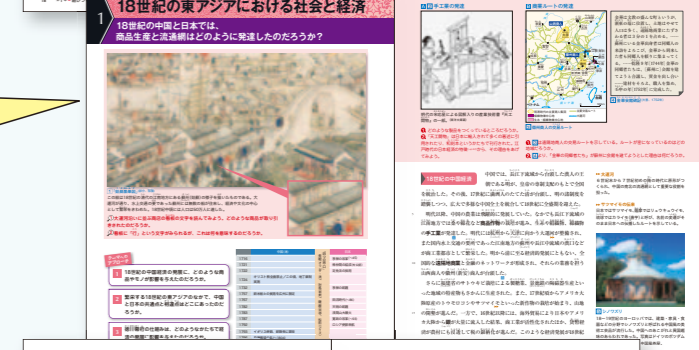
このページでは章の概観を示しています。年表や図版で時代の大まかなイメージをつかみます。また、学習を深める動画やウェブサイトも紹介しています。



第1章のテーマ1~4

教科書p.20-37

第1章は18世紀の経済活動について、4つのテーマで構成しています。1テーマ4ページから6ページで構成し、1テーマ1単元（または2単元）で完結するよう、本文の分量にも留意して紙面作りをおこないました。詳しくはp.8-9へ



第2章 国民国家と明治維新

教科書p.38-39

章の概観です。



第2章のテーマ1~7

教科書p.40-69

第2章は国民国家の形成や立憲体制、帝国主義などについて7つのテーマで構成しています。

近代化と現代的な諸課題

教科書p.70-75

第I部のまとめのページです。学習指導要領にある観点から、「開発・保全」「対立・強調」「自由・制限」を取り上げました。過去の人々が課題に対してどのような取り組みをおこなったかを資料を読みとくしながら振り返り、現代の諸課題について自ら課題を設定して考えます。



テーマの紙面構成と授業の展開例

簡潔な本文と、構造的でわかりやすいレイアウトに留意しました。

グラフや地図

カラーユニバーサルデザインに則り、読みやすい配色や線種で作製しています。



1 18世紀の東アジアにおける社会と経済

18世紀の中国と日本では、商品生産と流通網はどのように発達したのだろうか？

① 大運河沿いに並ぶ商店の看板の文字を読んでみよう。どのような商品が取り引きされたのだろうか。
② 看板に「行」という文字がみられるが、これは何を意味するのだろうか。

年	中国(年)	日本
1716	乾隆帝の即位	享保の改革(-45)
1721	乾隆帝の即位	享保の改革(享保10年) 定免法の採用
1724	乾隆帝の即位	享保の改革
1732	乾隆帝の即位	享保の改革
1757	乾隆帝の即位	享保の改革
1767	乾隆帝の即位	享保の改革
1768	乾隆帝の即位	享保の改革
1769	乾隆帝の即位	享保の改革
1792	乾隆帝の即位	享保の改革
1793	乾隆帝の即位	享保の改革
1796	乾隆帝の即位	享保の改革

2 18世紀の中国経済

中国では、長江下流域から台頭した漢人の王朝である明が、皇帝の専制支配のもとで全国を統治した。その後、17世紀に満洲人のたてた清が台頭し、明の諸制度を踏襲しつつ、広大で多様な中国全土を統合して18世紀に全盛期を迎えた。

① 手工業の発達
② 商業ルートの発達

③ 18世紀の中国経済
④ 大運河

3 18世紀の日本社会

江戸時代の日本では、古代からの王権である天皇(朝廷)が尊厳をおこなう一方、政治の実権は17世紀初めに全国を統一した徳川将軍(幕府)にあった。

⑤ 18世紀の日本社会
⑥ 18世紀の日本経済とその変容

4 全国市場の確立

17世紀末には全国各地で商品生産が活性化し、西廻り海運などが整備されて、大阪・江戸・京都の三部を中心に年貢米や特産物が流通する全国市場が確立した。

⑦ 全国市場の確立
⑧ 大坂の隆盛

年表・地図

このテーマに関わるできごとや、その前後の流れを確認するための年表や地図です。本文の内容を整理したり、日本と世界の動きを比較したり、知識の補足として利用できます。また、巻末年表(教科書p.244-249)とも対応しています。

本文

1単元で読みこなせる分量となるよう、必要な用語は維持しながら、経緯などの細部はできるだけ簡潔な記述を心がけました。

文字資料

素早く内容を理解することを重視して、現代語訳で示しています。分量の多い資料の場合は下線を示して主旨を理解しやすくしています。

人物コラム

歴史への興味・関心は人物を通して高まることから、各テーマ1~2名を取り上げ、紹介しています。

授業展開例

- 1 テーマ全体の問いを確認する**
このテーマで考えたい事柄が問いの形で示されています。授業の初めに全体の問いを確認して、課題意識を持つようにします。
- 2 導入図版と問いに取り組む**
授業の導入として、問いをもとに資料を読みときます。グループで、または隣の生徒と意見交換し、テーマについての興味・関心を高めます。
- 3 テーマへのアプローチを確認し、資料と問いに取り組む**
テーマ全体の問いを解くための3つのアプローチです。アプローチは、小見出しなど適切なまとまりごとに設定されています。授業の適切なタイミングでアプローチの問いを参照し、本文を読んで、対応する資料の問いについてグループワークなどで取り組みます。先生の指示をもとにアプローチの解答をまとめます。
- 4 テーマ全体の問いについてまとめる**
3つのアプローチの解答をふまえ、テーマ全体の問いについてまとめます。

- ※資料と問いは豊富に掲載されています。全てに取り組む必要はなく、授業の進捗に合わせて適宜選択してください。
 - ※より具体的な授業展開例や問いの解答例は「教師用指導書」に全て掲載しています。
 - ➡詳しくはp.16-21へ
- ➡ **アイデンティティ**
自己同一性。個人や集団が、みずからほかの個人や集団から区別する根拠のこと。価値観や宗教、言語・文化・外見など様々なものが根拠となる。

➡ **電子商取引(EC, Electronic Commerce)**
コンピュータのネットワーク上で電子的に契約や決済といった商取引をおこなうこと。インターネット通販や株式などのオンライン取引を指す。Amazon(アメリカ)・アリババ(中国)・楽天(日本)などのEC企業がある。
- ➡ **主権国家**
1つの政府が外部からの支配や干渉を受けずに国境の内部を統治する独立国のこと。

➡ **仮想通貨**
紙幣や硬貨のような現金ではなく、電子データのみでやりとりされる通貨。おもにインターネット上の取引に用いられ、特定の国家による保証はないものの、投資対象として広がりをみせている。
- 用語解説**
このテーマのポイントとなる用語に解説を付しています。歴史用語だけでなく、現代社会における基本的な教養として重要と思われる概念用語や経済用語も取り上げています。
- ➡ **GNPとGDP**
GNP(Gross National Product, 国民総生産)とGDP(Gross Domestic Product, 国内総生産)は、いずれもある国で一定期間内に生産されたモノやサービスの付加価値の合計額であり、国の実体経済を表す指標とされる。GDPの対象は「国内」であるため、たとえば日本企業が海外で生産したモノやサービスの付加価値は含まない。一方、GNPは「国民」を対象としているため、国内に限らず日本企業の海外支店などの所得も含んでいる。グローバル化の進展とともに、企業の海外活動が活発化し、GNPが国内の経済活動を正確に反映できなくなったため、現在ではおもにGDPが用いられている。

特に工夫した点

ビジュアルであること、本文はテーマに沿って簡潔であること、世界と日本を関連づけて考えられることを目指しました。



③ 食堂のメニュー



④ 百貨店の大食堂(1925年)

百貨店(デパート)は買い物をする場所というだけでなく、人々が休日などに遊覧にやってくる名所となった。百貨店の食堂は、西洋料理の普及に貢献した。(株式会社三越伊勢丹蔵)

②当時の日本人々は、新しい消費文化をどのように受けとめたのだろうか。

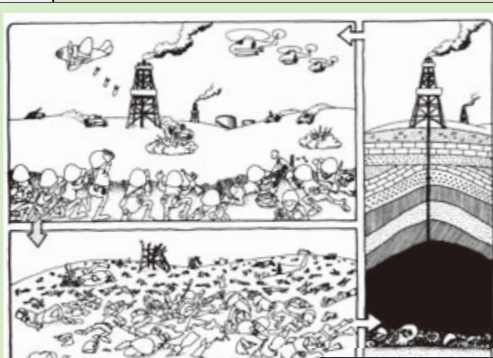


① 中国の農村での朝食の様子(1958年)
女性のうしろの壁には「食事は無料だ。生産に頑張ろう」というスローガンが書いてある。



② ソ連の科学技術
描かれている宇宙飛行士はガガーリンである。

- ①何年のどのようなできごとを表しているだろうか。
- ②それは世界にどのような影響を与えたのだろうか。



② 資源をめぐる争い
①どのような資源をめぐる争いを描いているだろうか。
②この絵は世界のどの地域を想定して描いているだろうか。

	アメリカ合衆国	西ヨーロッパ諸国	ソ連/東ヨーロッパ諸国	日本
1949	北大西洋条約機構(NATO)成立	ベルリン封鎖解除 ドイツ連邦共和国(西ドイツ) アドナウアー内閣(西ドイツ)	原爆実験(ソ) ドイツ民主共和国(東ドイツ)	
1950	赤狩り 波風	シューマン=プラン発表	中ソ友好同盟相互援助条約	朝鮮戦争特需の発生
1951	太平洋安全保障条約(ANZUS)			サンフランシスコ平和条約・日米安全保障条約締結
1952	水爆実験	ECSC 発足		
1953	アイゼンハワー大統領就任(共)「善き返し政策」		スターリン死去 反ソ暴動(東ドイツ)	
1954	ジュネーブ休戦協定(仏) アルジェリア独立戦争(仏、～62)			第五福丸事件 自衛隊発足
1955	バス=ボイコット運動(～56)	西ドイツ、主権回復 西ドイツ、NATOに加盟 ジュネーブ4日首脳会談/西ドイツ、ソ連と国交回復	ワルシャワ条約機構成立	高度経済成長始まる 第1回原水爆禁止世界大会
1956		第2次中東戦争に英・仏出兵	フルシチョフのスターリン批判 コミンフォルム解散 ポーランド反ソ運動 ハンガリー事件	日ソ共同宣言 国際連合加盟
1958		EEC・EURATOM発足 第五共和政(仏)		
1959	フルシチョフ訪米	ド=ゴール大統領就任	フルシチョフ訪米	安保闘争
1960	U2 撃墜事件	EFTA 発足		日米新安全保障条約
1961	ケネディ大統領就任(民)		ベルリンの壁建設	
1962	キューバ危機	アルジェリア独立承認(仏)	キューバ危機	
1963	部分的核実験禁止条約(米・英・ソ)フランスは拒否/米ソ間のホットライン ジョンソン大統領就任(民)			
1964	公民法成立	中華人民共和国内閣承認(仏)	ブレジネフ第一書記	オリンピック東京大会
1965	北爆=ベトナム戦争			日韓基本条約
1966		NATO軍事部門離脱(仏)		
1967		EC発足		
1968	キング牧師暗殺	五月危機(仏)	「ブラハの春」	
1969	ニクソン大統領就任(共)	ブラント内閣(西ドイツ)		

世界と日本の動きを関連づけた年表
そのテーマに即して整理した年表で、タテとヨコのつながりの理解と定着に役立ちます。

1単元でまとまる本文分量 必要な用語・事柄は維持しながら、経緯などの細部はできるだけ簡潔にし、テーマの問いについて考察できる記述を心がけました。



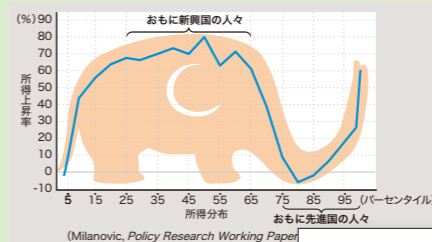
他教科との連携

「地理総合」や「公共」、「政治・経済」との連携を意識した資料を取り上げました。



10 全世界の所得上昇率

「象のカーブ」と呼ばれるこのグラフは、1988年の世界のすべての人々を所得ごとに1%ずつ横軸に並べ、それぞれの所得が2008年までの20年間(自由貿易の拡大期)でどの程度上昇したかを示している。右の方に先進国の人々、中央より左に新興国の人々が配置されることになる。



- ① 所得が伸び悩んでいるのはどのような人々だろうか。なぜ伸び悩んでいるのだろうか。
- ② 貿易自由化について、先進国と新興国では、それぞれどのような議論が展開されるだろうか。

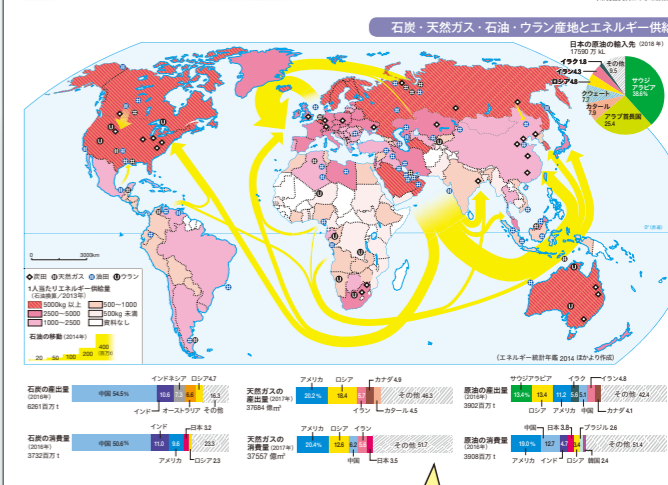
新聞記事や経済のグラフを多数用意するなど、歴史的观点とともに現代の政治や経済の視点からも考察ができるように工夫しました。

7 日本とシンガポールによる自由貿易協定

(『日本経済新聞』2002年1月14日)



- ① 記事にある対シンガポールを皮切りに、日本は2国間交渉に積極的になった。この転換の背景には何があったのだろうか。

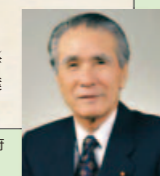


地理の地図帳に掲載されているものと同じ「世界の自然」や、「地球温暖化が関係していると考えられる現象」「石炭・天然ガス・石油・ウラン産地とエネルギー供給」などのデータ資料を巻末に掲載しています。

13 村山内閣総理大臣談話「戦後50周年の終戦記念日にあたって」(1995年8月15日)

……今、戦後50周年の節目に当たり、われわれが銘記すべきことは、来し方を訪ねて歴史の教訓に学び、未来を望んで、人類社会の平和と繁栄への道を誤らないこととあります。わが国は、遠くない過去の一時期、国策を誤り、戦争への道を歩んで国民を存亡の危機に陥れ、植民地支配と侵略によって、多くの国々、とりわけアジア諸国の人々に対して多大の損害と苦痛を与えました。私は、未来に誤り無からしめんとするが故に、疑うべくもないこの歴史の事実を謙虚に受け止め、ここに改めて痛切な反省の意を表し、心からのお詫びの気持ちを表明いたします。また、この歴史がもたらした内外すべての犠牲者に深い哀悼の念を捧げます。戦敗の日から50周年を迎えた今日、わが国は、深い反省に立

ち、独善的なナショナリズムを排し、責任ある国際社会の一員として国際協調を促進し、それを通じて、平和の理念と民主主義とを押し広げていかなければなりません。同時に、わが国は、唯一の被爆国としての体験をふまえて、核兵器の究極の廃絶をめざし、核不拡散体制の強化など、国際的な軍縮を積極的に推進していくことが肝要であります。これこそ、過去に対するつぐないとなり、犠牲となられた方々の御霊を鎮めるゆえんとなると、私は信じております。「杖は信に如くは莫し」と申します。この記念すべき時に当たり、信義を施政の根幹とすることを内外に表明し、私の誓いの言葉といたします。(外務省「村山内閣総理大臣談話」)



④ 村山富市

村山談話は、2005年8月15日の小泉純一郎首相談話、2015年8月14日の安倍晋三首相談話でも引き継がれ、日本政府の統一した見解を示すものとなっている。

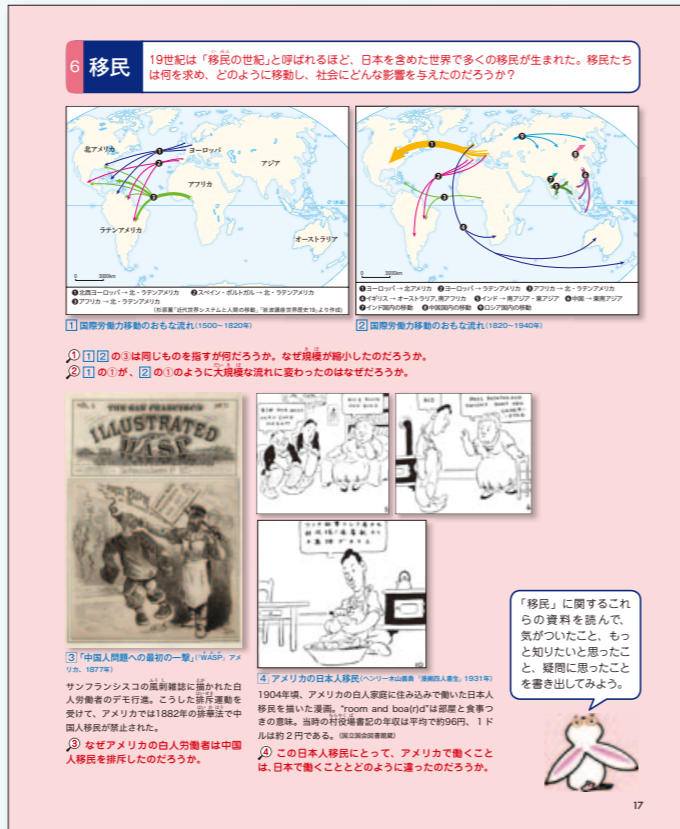
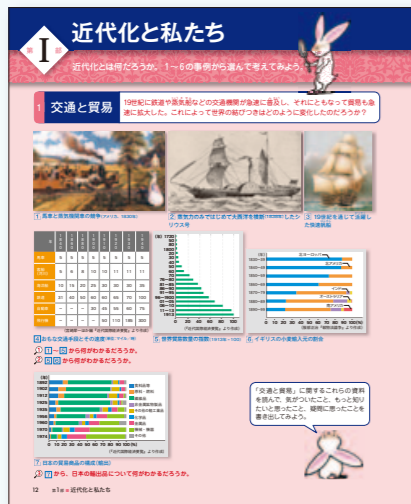
- ① ⑬の見解が戦後50年を経てようやく出された背景には、どのような歴史があるのだろうか。
- ② この談話が出されたことには、日本と東アジアの国々との関係のなかで、どのような意義があったのだろうか。

テーマ史の授業展開例

「移民」の歴史を通して外国人労働者問題について考える

第Ⅰ～Ⅲ部の冒頭にある資料のページは、テーマ史のアクティブラーニングとしても活用できます。「第Ⅰ部 近代化と私たち」の「移民」(教科書p.17)を例に、授業の一案をご紹介します。

この授業は、「移民」を国際的な労働力の移動という観点でとらえ、そこに発生してくる問題を考えさせることをねらいとしています。グループワークを通して教科書から得た「知識」をもとに「思考・判断・表現」するアクティブラーニングによる授業展開の一例です。



- T 印をつけた箇所を1500～1820年、1820～1940年の2つの時期に分け、例に従って内容を表に簡潔にまとめてみよう。
- S 班内で印をつけた箇所を確認し合い、各自が2つの時期に分けて内容をまとめる。



時期	移民に関する出来事
1500～1820年	p.26 18世紀 ：(中国→東南アジア) 中国(清)の国際貿易が発展し、東南アジアから胡椒や米・蘇木・海産物を輸入する一方、 中国移民が東南アジアに向かった 。 p.46 18世紀後半 ：(ヨーロッパ諸国→アメリカ) 独立を実現したアメリカでは、広大な国内市場向け商品生産のため北東部では工業、中西部・南部では農業が発展し、その労働力として ヨーロッパ諸国から大量の移民が受け入れられた 。
1820～1940年	p.32 19世紀前半 ：(移民の増大) 蒸気船や蒸気機関車の広まり、運河の建設など 交通手段の発達(速度や輸送人数)により移民が容易になった 。 1840年代 ：(アイルランド→アメリカ) 主食のジャガイモの不作による飢饉のため アイルランドから200万人以上がアメリカを中心とする外国に移住した 。

- T まとめた「移民」の表にもとづいて教科書p.17のQ2の答えを考えて発表しよう。「移民」の表からは、直接Q1の答えを見つけることはできないのでQ2からはじめる
- S 各班の代表がQ2の答えを発表する。【アメリカのイギリスからの独立。アメリカが広大な国内市場向け商品生産の労働力として欧州移民を大量に受け入れ】
- T つぎに、p.46の印をつけた「移民」に関する箇所の少し先まで読んで、教科書p.17のQ1の答えを考えて発表しよう。
- S 教科書p.46を読み、Q1の答えを発表する。【黒人奴隷制度にもとづくプランテーション農業とリンカンによる奴隷解放宣言】
- T (黒人奴隷制度に関する補足) 教科書p.41の黒人奴隷に関する箇所に印をつけよう。
- S 教科書p.41を読み、黒人奴隷に関する箇所にマーカーで印をつける。(アフリカからの黒人奴隷の連行を確認させる)
- T 「黒人奴隷」と「移民」との違いについて説明しよう。
- S 「黒人奴隷」と「移民」の違いについて説明する。【連行されてきた奴隷、自らの意志にもとづく移民】

導入

- T Teacher (新聞記事や雑誌などに掲載された日本のコンビニや工場、畑で働く外国人労働者の写真をスライドにして提示する。) これらの写真を見て気づいたことを発表しよう。
- S Student 各自が気づいたことを発表する。【たくさんの外国人が日本人と一緒にいるところなど働いている】
- T 多くの人々が自国を離れ、外国で働くということは以前からあった。教科書p.17の①・②の地図(「国際労働力移動のおもな流れ」)を見て確認しよう。

展開

- 1. 国際労働力の移動
 - T 教科書第Ⅰ部の「移民」に関する箇所にマーカーで印をつけよう。
 - S 各班内で第1章の1～4、第2章の1～7を分担して読み込み、印をつける。

2. 移民の増加と移民排斥

- T ④の漫画と「移民」の表をもとにQ4の答えを考え、移民が外国で働くこと、移民を受け入れる国の理由を説明しよう。
- S 「移民が外国で働くこと、移民を受け入れる国の理由」を説明する。【移民は自国より良い労働条件と生活を求めて、受け入れ国は不足する労働力の補填、また安価な労働力として】
- T 移民を受け入れることにメリットがあるにもかかわらず、受け入れ国で③の絵に見られるような排斥運動が起きるのはなぜだろう、「移民」の表をもとに考え発表しよう。(Q3の答え)
- S 移民排斥運動が起きる理由を発表する。【受け入れ国の労働者や西欧からの白人移民労働者との利害対立】

まとめ

- T (p.91の移民法、p.231の移民・難民についての記述を参照) 移民の問題を考える際には、移民を出した地域の事情と、それを受け入れる国の状況、それぞれの変化などに留意することが大切。
- T (p.165の④のグラフを示す) 現在の日本の社会は外国人の労働力に頼らなければ成り立たなくなっている。そのような外国人労働者をどのように受け入れていったらよいか、考えてみよう。(p.165のQ4の答えに導く)

山川出版社の

歴史総合トータルサポート

指導に、学習に、ICT教育に。
山川出版社は「歴史総合」をトータルサポートいたします。

▶ 教師用指導書 ➡ p.16
授業実践編
研究編



山川&二宮ICTライブラリ

歴史総合デジタルテスト集
一問一答(仮)
山川&二宮ICTライブラリにて
ダウンロード販売

▶ 教師用指導書付属データ集 ➡ p.22
▶ デジタル教科書 ➡ p.26
▶ 山川&二宮ICTライブラリ ➡ p.23

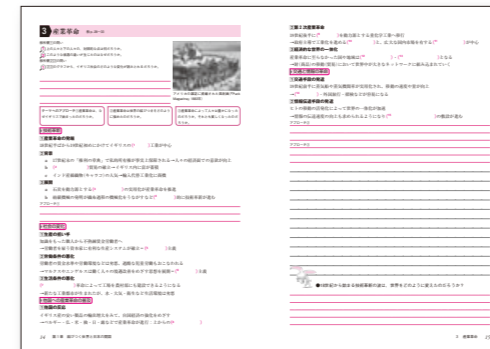
指導
先生用サポート



学習
生徒用サポート



授業用サポート
ICT教育



現代の歴史総合 準拠ノート

▶ 準拠ノート ➡ p.24

歴史総合 要点チェック

B5判 2色 72頁(予定)
価格未定

歴史総合 用語と解説集

四六判 2色 260頁(予定)
予価990円(10%税込)

歴史総合資料集

AB判 4色 56頁(予定)
価格未定

※書店店頭での販売は致しません。

地図&年表で整理 歴史総合

AB判 4色 40頁(予定)
価格未定

※書店店頭での販売は致しません。

歴史総合問題集(発売中)

B5判 2色 128頁+解答16頁
定価990円(10%税込)



現代の歴史総合 みる・読みとく・考える 教師用指導書 授業実践編

歴総 708 準拠

B5判・256頁(予定)・2色刷・付属データ集DVD-ROM付

本教科書の特色である資料と問いについて、全ての資料解説と問いの解答例を掲載しています。単元ごとの授業の展開例や参考文献など、授業準備を全面サポートする充実の内容です。



- 教科書に掲載の「テーマ全体の問い」にもとづいた授業の目標です。
- 「テーマ全体の問い」に対する解答例です。200字程度にまとめています。
- 問いごとの観点別評価です。
- 「導入」「展開」「まとめ」ごとのタイムテーブルです。
- 「学習活動」は、生徒が主体的におこなう活動について解説しています。アプローチや問いを参照し、本文も参考にしながら適宜グループワークや隣の生徒と意見交換をおこなって、発言したりまとめたりします。
- アプローチ①～③の場所は、準拠ノートとも一致しています。
- 「指導上の留意点」は、生徒への問いかけ例や授業の進め方について解説しています。
- 資料の解説です。適宜生徒へのサポートにお役立てください。
- 教科書に掲載されている問いとその解答例です。生徒が答えられる範囲の解答例になっています。
- 「テーマへのアプローチ」は、それぞれ授業の区切りのところでまとめるよう、解答例は適切な場所に設けています。
- 補足資料も適宜ご用意しています。

※参考文献は、入手しやすい新書やリブレットを中心に紹介しています(指導書巻末に掲載)。

近代化と私たち

本時の目標 情報を読みとったりまとめたりする技能を習得する。近代化ともなう人々の生活や社会の変化について考察するための「問い」を表現する。

指導上の留意点 ①「交通と貿易」「産業と人口」「権利意識と政治参加、国民の義務」「学校教育」「労働と家族」「移民」の6つのテーマから、年間の授業計画において必要と考えられるものを選択して1つ以上を取り上げる。1つのテーマには1時間の授業をえて、地図、グラフ、図表、年表、写真、風刺画などの近代化に関する資料について、グループ学習をおこなう。設問に対する答え、疑問に思ったこと、考えたことなどを意見交換させる。最後に生徒の考えた「問い」を共有させたり発表させたりする。この段階では答えを示さないようにする。教師は生徒の「問い」を記録し、第1章および第2章での学習の際に、それらを踏まえた授業になるよう心がける。

- ① 交通と貿易
- ② 19世紀に鉄道や蒸気船などの交通機関が急速に普及し、それにもよって貿易も急速に拡大した。これによって世界の結びつきはどのように変化したのだろうか？
- ③ 鉄道や蒸気船の発達により、輸送に要する時間は大幅に短縮され、一度に輸送できる量も多くなり、総じて効率が上がった。このことと産業革命による生産の効率化により、嗜好品など単価の高いものが中心だった通商手帳が縮小され、輸送品など日用品が多くなり、輸送に要するコストが下がった。その結果、これまで特産品によって利益を上げていた産地も、工業国の市場や原料供給地に転換するところが増え、それは従属的な状態で世界経済に組み込まれることになった。
- ④ ①～③から何がわかるだろうか？
- ⑤ ①～③から何がわかるだろうか？
- ⑥ ①～③から何がわかるだろうか？
- ⑦ ①～③から何がわかるだろうか？

- ⑧ 馬車と蒸気機関車の競争(アメリカ、1820年)
- ⑨ 蒸気力のみではじめて大西洋を横断(1839年)したシリウス
- ⑩ 19世紀を通じて活躍した快速帆船

⑪ ①～③から何がわかるだろうか？

⑫ ①～③から何がわかるだろうか？

⑬ ①～③から何がわかるだろうか？

⑭ ①～③から何がわかるだろうか？

⑮ ①～③から何がわかるだろうか？

⑯ ①～③から何がわかるだろうか？

⑰ ①～③から何がわかるだろうか？

⑱ ①～③から何がわかるだろうか？

⑲ 日本の貿易商品の構成(単位)

⑳ 日本の貿易商品の構成(単位)

㉑ ①～③から何がわかるだろうか？

㉒ ①～③から何がわかるだろうか？

㉓ ①～③から何がわかるだろうか？

㉔ ①～③から何がわかるだろうか？

㉕ ①～③から何がわかるだろうか？

㉖ ①～③から何がわかるだろうか？

㉗ ①～③から何がわかるだろうか？

㉘ ①～③から何がわかるだろうか？

㉙ ①～③から何がわかるだろうか？

㉚ ①～③から何がわかるだろうか？

㉛ ①～③から何がわかるだろうか？

㉜ ①～③から何がわかるだろうか？

㉝ ①～③から何がわかるだろうか？

㉞ ①～③から何がわかるだろうか？

㉟ ①～③から何がわかるだろうか？

㊱ ①～③から何がわかるだろうか？

㊲ ①～③から何がわかるだろうか？

㊳ ①～③から何がわかるだろうか？

㊴ ①～③から何がわかるだろうか？

㊵ ①～③から何がわかるだろうか？

㊶ ①～③から何がわかるだろうか？

㊷ ①～③から何がわかるだろうか？

㊸ ①～③から何がわかるだろうか？

㊹ ①～③から何がわかるだろうか？

㊺ ①～③から何がわかるだろうか？

㊻ ①～③から何がわかるだろうか？

㊼ ①～③から何がわかるだろうか？

㊽ ①～③から何がわかるだろうか？

1 結びつく世界と日本の開国

1 18世紀の東アジアにおける社会と経済

本時の目標 近世後期に相当する18世紀の中国と日本において、社会と経済の特徴がそれぞれどのようなものであったのかについて、両者を対比するなかから考察する。

解説 中国では江南で商品作物栽培や手工業の発展がみられ、遠隔地商業と金融のネットワークが形成されて、人口が急増した。一方日本では、幕藩体制のもと「天下の台所」と呼ばれた大坂に米などが運ばれ、遠隔地海運も発展して、全国的な市場が形成された。しかし、中国では人口の増加にみあった耕地面積の拡大はなされず、日本では農村における土地を継承する有力百姓と田畑を失った小百姓への人口増加が生じるなどして人口も停滞した。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
導入①②、③④⑤、⑥⑦⑧⑨	導入①②、③④⑤⑥⑦⑧⑨、⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

学習活動 ① 中学で学習した江戸時代の日本において、どのような商品が生産されていたかを相談しながらノートに書き出す。

② 名詞の「結蘇華園」から商店の看板の文字を書きとる。看板の「行」について意見交換する。

指導上の留意点 ① 江戸時代の日本と、同時代の中国の状況を初歩的に対比させ、共通点があることに気づかせる。

② ①の「結蘇華園」から商店の看板の文字を書きとる。看板の「行」について意見交換する。

③ ①の「結蘇華園」から商店の看板の文字を書きとる。看板の「行」について意見交換する。

④ アプローチ① 18世紀の中国経済の発展に、どのような商品やモノが影響を与えたのだろうか？

⑤ ④の問いから、生糸生産を読みとる。

⑥ ④の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

⑦ ④の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

⑧ アプローチ② 徳川幕府の仕組みは、どのようなかたちで経済の発展に影響を与えたのだろうか？

⑨ ⑧の問いから、地方分権と身分制社会の構造を理解する。

⑩ ⑧の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

⑪ アプローチ③ 徳川幕府の仕組みは、どのようなかたちで経済の発展に影響を与えたのだろうか？

⑫ ⑪の問いから、地方分権と身分制社会の構造を理解する。

⑬ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

⑭ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

⑮ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

⑯ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

⑰ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

⑱ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

⑲ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

⑳ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉑ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉒ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉓ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉔ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉕ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉖ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉗ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉘ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉙ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉚ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉛ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉜ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉝ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉞ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉟ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊱ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊲ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊳ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊴ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊵ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊶ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊷ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊸ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊹ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊺ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊻ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊼ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊽ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊾ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊿ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

⑲ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

⑳ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉑ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉒ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉓ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉔ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉕ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉖ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉗ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉘ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉙ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉚ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉛ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉜ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉝ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉞ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉟ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊱ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊲ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊳ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊴ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊵ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊶ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊷ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊸ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊹ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊺ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊻ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊼ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊽ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊾ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊿ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉑ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉒ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉓ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉔ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉕ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉖ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉗ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉘ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉙ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉚ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉛ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉜ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉝ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉞ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉟ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊱ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊲ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊳ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊴ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊵ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊶ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊷ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊸ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊹ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊺ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊻ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊼ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊽ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊾ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊿ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉑ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉒ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉓ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉔ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉕ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉖ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉗ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉘ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉙ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉚ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉛ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉜ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉝ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉞ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉟ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊱ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊲ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊳ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊴ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊵ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊶ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊷ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊸ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊹ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊺ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊻ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊼ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊽ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊾ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊿ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉑ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉒ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉓ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉔ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉕ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉖ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉗ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉘ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉙ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉚ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉛ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉜ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉝ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉞ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉟ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊱ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊲ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊳ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊴ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊵ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊶ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊷ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊸ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊹ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊺ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊻ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊼ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊽ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊾ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊿ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉑ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉒ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉓ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉔ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉕ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉖ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉗ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉘ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉙ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉚ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉛ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉜ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉝ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉞ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉟ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊱ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊲ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊳ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊴ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊵ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊶ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊷ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊸ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊹ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊺ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊻ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊼ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊽ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊾ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊿ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉑ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉒ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉓ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉔ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉕ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉖ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉗ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉘ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉙ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉚ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉛ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉜ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉝ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉞ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉟ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊱ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊲ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊳ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊴ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊵ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊶ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊷ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊸ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊹ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊺ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊻ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊼ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊽ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊾ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊿ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉑ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉒ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉓ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉔ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉕ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉖ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉗ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉘ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉙ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉚ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉛ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉜ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉝ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉞ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉟ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊱ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊲ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊳ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊴ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊵ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊶ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊷ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊸ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊹ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊺ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊻ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊼ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊽ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊾ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊿ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉑ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉒ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉓ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉔ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉕ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉖ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉗ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉘ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉙ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉚ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉛ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉜ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉝ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉞ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉟ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊱ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊲ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊳ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊴ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊵ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊶ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊷ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊸ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊹ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊺ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊻ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊼ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊽ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊾ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊿ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉑ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉒ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉓ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉔ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉕ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉖ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉗ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉘ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉙ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉚ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉛ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉜ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉝ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉞ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉟ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊱ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊲ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊳ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊴ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊵ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊶ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊷ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊸ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊹ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊺ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊻ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊼ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊽ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊾ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊿ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉑ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉒ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉓ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉔ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉕ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉖ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉗ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉘ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉙ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉚ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉛ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉜ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉝ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉞ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㉟ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊱ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊲ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊳ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊴ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊵ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊶ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊷ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊸ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊹ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊺ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊻ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊼ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊽ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊾ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。

㊿ ⑪の問いから、中国が抱えた問題に気づく。



3 産業革命 18世紀から始まる技術革新の波は、世界をどのように変えたのだろうか？

教p.28~33

本時の目標 生産技術の革新や交通・通信手段の発達がどのように展開したか理解し、それらが世界へもたらした影響について考察する。

解答例 生産技術の革新によって機械が生産の中核を担うようになり、熟練の必要がない労働者と出資する資本家の関係を軸とした資本主義が誕生、労働者の環境を改善すべく社会主義も出現した。イギリスの技術革新への焦りから他国にも産業革命は波及して資本主義国が増加した一方、産業革命に至らなかった地域は原料供給地や製品市場として世界規模のネットワークへ組み込まれ、経済的な世界の一体化が進んだ。技術革新は交通と情報の分野にもおよび、貿易の拡大だけでなく、移民や旅行といった人の移動も急増させ、また列強による遠方地域の植民地化を可能にした。

Table with 3 columns: 知識・技能, 思考・判断・表現, 主体的に学習に取り組む態度. It lists various lesson numbers and page numbers associated with each skill category.

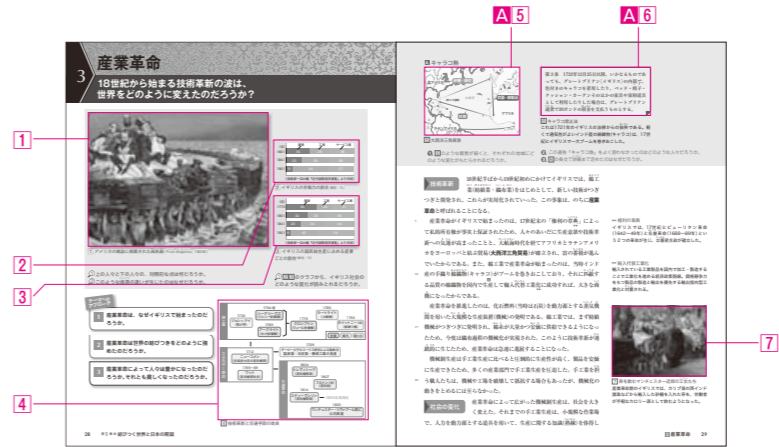
Table with 2 columns: 学習活動, 指導上の留意点. It details the activities for the lesson and the points to be noted by the teacher.

アプローチ1 産業革命は、なぜイギリスで始まったのだろうか。 (1)技術革新
A5から資本があったこと、A6から綿製品の輸入代替には大きな商機があったことを読みとる。
一般論として、生産意欲や技術革新への気運が高まる(=大量に作りたくなる)要因となるものを考えたうえで、権利の章典による私的所有権の保証がイギリスの人々の意欲を高めたことを理解する。
大量生産に向く商品について考察し、機械化することの効果を理解する。
A4から技術革新が連鎖的に生じ、産業革命が急速に進展したことを知る。

(2)社会の変化
機械化によって失業する人もいるなど負の側面に気づく。
機械化による労働の質の変化を理解し、その影響について考察する。
B8~10を読みとくとき、多くの子どもが働くことになった背景を考察し、機械化の影響のひとつであることを理解する。
子どもを含めた労働者が資本家に対して圧倒的に不利であった状況を理解し、それを改善する方策について考察する。
また、改善をめざすのが社会主義であることを知る。
C11などから石炭の導入(エネルギー革命)による新たな問題に気づく。

(3)他国への産業革命の普及
イギリスの機械化による他国の焦りが、産業革命を波及させたことを理解する。また、遅れを解消したい他国がとる方策についてC13、15から考察する。
後発資本主義国のうちドイツ・アメリカなどはイギリスの後追いではなく、重化学工業へ移行したことを知り、その分野ではイギリスが立ち遅れてしまう背景を理解する。
産業革命に至った国とそうでない国や地域の、その後の関係を推測する。

Approach 2 and 3 sections. Approach 2 discusses the revolution of transport and information, and Approach 3 discusses the impact of the industrial revolution on global wealth and poverty.



1 アメリカの雑誌に掲載された風刺画('Puck Magazine' 1883年)
解説 上の4人(SAGE, FIELD, GOULD, VANDERBIL)は著名な資本家で、大きく膨らませたお腹にはドルマークが描かれている。下で支えている人々は労働者だろう。
解答例 服装(正装-作業服)、姿勢(満腹そうに座り込む-苦しうに支えている)、人数(少-多)などが対照的。

2 イギリスの労働力の割合(単位: %)
3 イギリスの国民総生産に占める産業ごとの割合(単位: %)
解説 19世紀を通じたイギリスの産業構造の変化を読みとりたい。労働力の面では、サービス業に大きな変化がない一方で、農業から工業への転換が見受けられる。生産量の面でも、農業の割合は大幅に減り、工業・サービス業が割合を増やしている。

※紙面は制作中のものです。

※紙面は制作中のものです。



つみ)に着目したい。飛び杆は機械とはいえないが、織布の効率を3〜4倍にし、綿糸不足をまねいた。このことが、続く紡績機の改良・発明を促し、それによって綿糸が余ると、織布に蒸気機関を導入した力織機が開発された。以上の綿工業の効率化が、原料(綿花)の入手の効率化を必要とし、綿繰り機の発明につながった。このような技術革新の連鎖性が産業革命の進展につながった。

▶(1)技術革新

【A】キャラコ熱

【5】大西洋三角貿易

【解説】大航海時代においてヨーロッパは、対アジアでは必ずしも主導権を握れなかったが、対アフリカ・アメリカでは経済的・軍事的に優位に立っていた。そして大西洋で結ばれた経済圏を成立させ、自らの製品をアフリカへ売り、アフリカから黒人を奴隷としてアメリカへ運び、その労働力で砂糖や綿花を生産してヨーロッパへ運び込む、という大西洋三角貿易で利益を上げた。

①⑤のような貿易が続くと、それぞれの地域にどのような変化がもたらされるだろうか。

【解答例】ヨーロッパは自らの製品をアフリカへ売り、三大陸間の交易も担って利益を上げた。アフリカは多くの人々を奴隷とされ長期的かつ莫大な損失を被った。アメリカ大陸はモノカルチャー経済へと陥り、奴隷問題が残った。

【6】キャラコ禁止法

【解説】“キャラコ”の名称はカリカットに因む。東インド会社が多量に輸入したインド産の綿織物は、軽くて通気性や吸湿性、肌触りがよく、染色も容易で加工しやすかったことから人気となった。綿・絹・毛・麻といった各種織物の特徴については、現在の高校生が身につけている衣服等と関連づけておさえておきたい。

②この通称「キャラコ熱」をよく思わなかったのはどのような人々だろうか。

【解答例】イギリスの伝統産業である毛織物工業の関係者は、毛織物の競争相手となる綿織物を歓迎しなかった。

③⑥の条文で詳細まで定めたのはなぜだろうか。

【解答例】たとえばカーテンとして輸入して国内で衣服に加工して販売するといった方策を妨げるためである。

【7】茶を飲むマンチェスター近郊の工女たち

【解説】工女たちが働く工場では、インドやアメリカ大陸から輸入した綿花を輸出品としての綿製品へ加工している。彼女たちが飲んでいるのは、西インド諸島産の砂糖を入れた東インド会社が輸入したアジア産の茶である。この絵は経済における世界の一体化の縮図のような光景である。

【アプローチ1】【解答例】他の国や地域と比べ、人々の生産意欲や技術革新への気運が高かったこと、大西洋三角貿易によって新しい生産様式(機械)の普及に必要な富が蓄積されていたこと、折りからのキャラコブームが輸入代替工業化への動機づけとなったことなどがあげられる。また、石炭や鉄鉱石といった必要な資源にも恵まれていた。

▶(2)社会の変化

【B】働く人々の境遇

【8】児童労働法(フランス、1841年)

【9】イギリスの炭鉱で働く子ども

【10】「イギリスの白人奴隷たち」と題された絵(工場で働く子ども)

【解説】機械制生産の広がりにともない、働く人々に特段の熟練は要求されなくなった。これにより、より低賃金で雇える女性や子どもの雇用が進み、成人男性の失業も生じた。女性や子どもの雇用を促進した背景には低賃金のほかにも、機械の調整・修理などに筋力より繊細さが求められることや、狭い坑道で働くのに小さな身体が適していたこと(⑨)、腕力や権力によって制御しやすかったこと(⑩)もあげられる。

①なぜ多くの子どもが労働者として働くことになったのだろうか。

【解答例】低賃金で雇えたこと、炭鉱では小さな身体が適していたこと、大人より支配しやすかったことなどが要因としてあげられる。

②このような法令が出された背景には、どのような労働環境があったのだろうか。

【解答例】この法令で許容された内容もかなり過酷だが、実態はこれ以上にひどい環境であったからこの法令が出されたと考えられる。

③児童労働は家族のあり方にどのように影響したのだろうか。

【解答例】児童労働による賃金が家族収入の重要な一部となったため、多産家族が家族の望ましい形態となった。

④みなさんがこの当時の環境で生きていたら、どのような生活が待っていたのだろうか。

【解答例】学校にもほとんど行けず、劣悪な労働環境のなかで長時間労働を強いられ、得た賃金は家族の生活のために支出された。

【11】岩倉使節団がみた19世紀のイギリス

【解説】同時代の日本人によるイギリス都市の描写は興味深い。この引用箇所では、イギリス都市の環境の劣悪さと工業の発達、人々の健康状態の悪化といった三者が関連づけられている。

【12】エンゲルス

【解説】(省略)

▶(3)他国への産業革命の普及

【C】「ドイツがとるべき工業化の道」(1814年)

【15】ドイツ関税同盟

【解説】リストは保護貿易と結びつけられがちだが、それを万能だと考えていたわけではない。資料【13】においてリストは、当時のドイツは資料中の第2段階にあるとして保護貿易を主張したのであり、このような段階の根拠を歴史に求めている。それは、当時すでに第3段階にあるイギリスも、かつては航海法やキャラコ禁止法などの保護主義をとっていたことを指している。リストは1825〜32年にアメリカへ

亡命しているが、当時のアメリカは商工業中心の北東部による保護貿易の主張と、プランテーション中心の南部が主張する自由貿易で対立していた(のちの南北戦争の争点のひとつ)。滞在先での経済学者との交流は、帰国後のドイツ関税同盟結成などの活動に影響を与えたと思われる。なぜならドイツにおいても、ユンカー主導の封建的な農業のこっていた東部と、工業化が始まっていたラインなど西部が併存しており、前者が穀物輸出を求めて自由貿易を、後者が先進のイギリスの製品を排したいために保護貿易を主張していた。当時のアメリカ内とドイツ内には相似した構図の対立があったのである。

①この時期に国をあげて工業化を進めたのは、どのような動機にもとづいていたのだろうか。

【解答例】工業化が政治的・経済的な国力につながるととらえられ、国としての発展を重視するなかで、政府による介入が進んだ。

②リストは⑩で、どのような段階で経済体制を変化させるべきと述べているだろうか。

【解答例】第2段階から第3段階へは、国内産業が発達し、国際競争力が強化された後に移行すべきとしている。

【D】アメリカの大規模な石油プラント(1905年)

【解説】写真はペンシルバニア州のもの。川沿いの建造物や煙突に加え、うっすらと煙もみえる。第2次産業革命の中心となった重化学工業は、第1次産業革命の中心産業であった繊維などの軽工業と比べると巨額の資本を必要とするため、企業の集中や独占を促す傾向があった。第2次産業革命をリードしたドイツとアメリカでは独占資本の形成が進み、国政へも影響をおよぼした。

①アメリカの第2次産業革命の中心産業は何だろうか。

【解答例】鉄鋼・機械・造船などの重化学工業が中心産業で、蒸気力・石炭ではなく電力・石油を動力源とした。

▶(4)交通と情報の革命

【E】交通手段の発達

【16】オーストリアの画家が1891年に描いた絵

【17】スエズ運河開通による航路ごとの距離(単位:マイル)

【18】1869年のスエズ運河開通を描いた絵

【解説】⑩はエミール＝ジェイコブ＝シンドラーの版画「世界一周旅行」である。世界旅行の手段として蒸気機関車や蒸気船が描かれており、周囲には日本も含めていろいろな国旗がみえる。地図はヨーロッパを中心に描かれており、スエズ運河を通るルートが示されている。⑪からはスエズ運河の開通がヨーロッパとアジアの時間的距離を一気に縮めたことが読みとれる。その分、高額な通行料を課すことができ、スエズ運河株の重要性も高かったため、エジプトからイギリスへの株式売買事件(1875年、教p.60)も起こった。現在のスエズ運河の通行料を調べてみるのも生徒の関心を高められるかもしれない。

①⑩⑩のそれぞれに描かれている交通手段をあげてみよう。

【解答例】どちらにも蒸気船が描かれ、⑩には蒸気機関車も描かれている。

②スエズ運河の開通がもたらした効果には、どのようなものがあるだろうか。

【解答例】ヨーロッパとアジアの往來にかかる時間・燃料コストを大幅に削減した。

③⑩の絵にふさわしいタイトルを、「世界」という語を使って表現してみよう。

【解答例】生徒に自由に表現させる(原題は「世界一周旅行」)。

【19】スティーヴンソン(1781〜1848)

【解説】(省略)

【20】ロコモーション号

【23】イギリス鉄道網の拡大

【解説】絵には蒸気機関車の横を競って走る馬車や犬が描かれている。この時のロコモーション号は時速18kmで、現在の鉄道と比べると遅いが、従来の馬車よりも速く大量に運べることを証明した。この5年後に世界初の公共鉄道が

現代の歴史総合 みる・読みとく・考える 教師用指導書 付属データ集

教師用指導書には付属データ集（DVD-ROM）をセットでご提供いたします。
先生方の授業準備やテスト問題の作成に、ぜひご活用ください。

付属データ集（DVD-ROM）収録予定コンテンツ一覧

- 教科書紙面データ
- 教師用指導書紙面データ
- 授業用スライド&ワークシート
- 準拠テスト例

3 授業用スライド

PowerPoint（電子黒板・プロジェクター用）

- 教科書の単元ごとに構成
- 要点を整理し、学習のポイントを明示
- 授業スタイルにあわせてアレンジが可能



1. 第一次世界大戦の勃発と展開

A サライエヴォ事件

1914年6月、オーストリア=ハンガリー帝国の帝位継承者夫妻が、「ヨーロッパの火薬庫」と呼ばれたバルカン半島のサラエヴォで、セルビア人の民族主義者に暗殺された。



1. 第一次世界大戦の勃発と展開

C 第一次世界大戦の展開-1

ヨーロッパ戦争は長期戦となり、ヨーロッパでは、ドイツ西側の西部戦線は塹壕戦となり、膠着状態となる一方、イギリスによる海上封鎖にドイツが潜水艦で対抗した。



1. 第一次世界大戦の勃発と展開

D 第一次世界大戦の展開-2

アジア・アフリカ戦争はアジア・アフリカにも飛び火し、連合国側は植民地を食料や原材料の供給地、兵士や労働者の提供地として利用した。



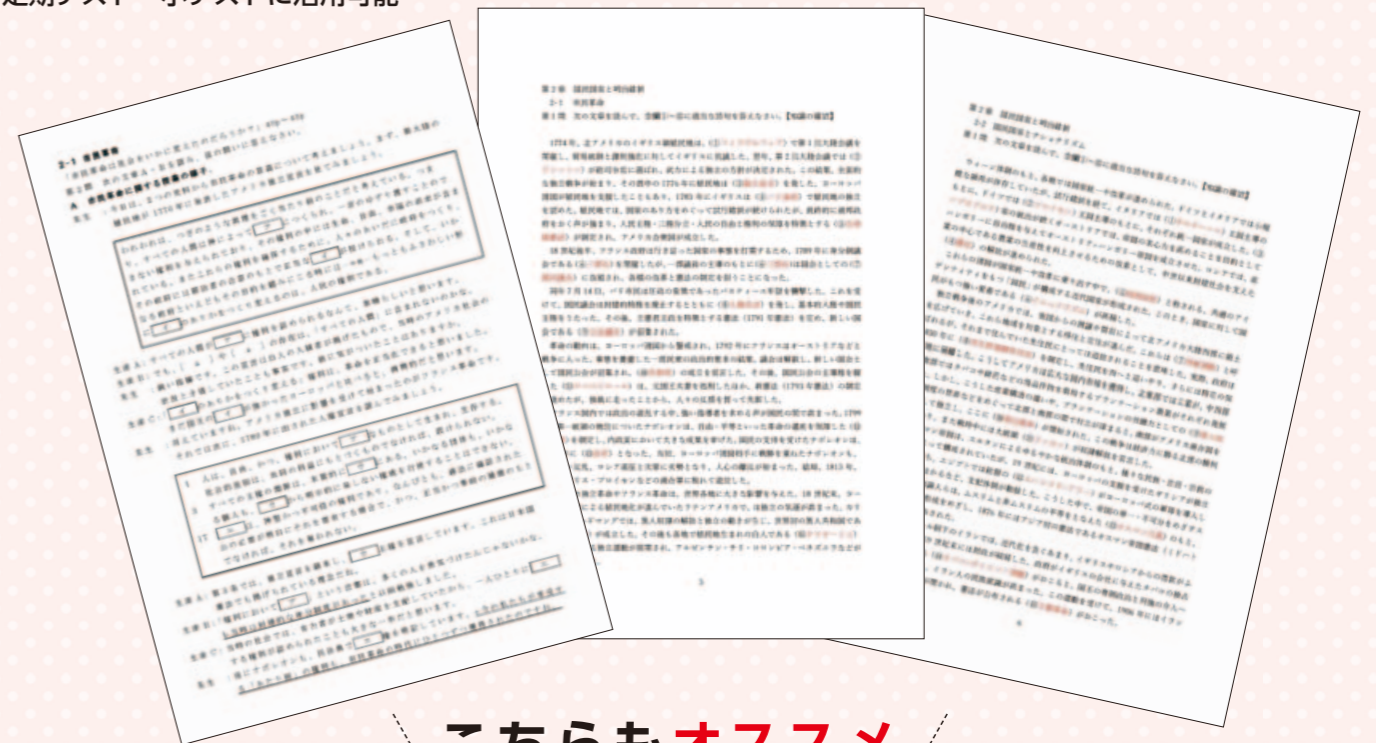
イギリスの同盟国から動員した兵力	大英帝国の地域	兵員数 (人)
イギリス		6,704,416
カナダ		628,964
オーストラリア		412,953
ニュージーランド		128,525
南アフリカ		136,070
ニュージーランド		8,173
インド		1,440,437
東アフリカ		約34,000
西アフリカ		約25,000
西インド諸島		15,001

※制作中につき、内容や体裁は変更になる場合がございます。

4 準拠テスト例

Word

- 教科書の単元ごとに作問
- さまざまなパターンの出題形式
- 定期テスト・小テストに活用可能



こちらもおススメ

山川 & 二宮ICTライブラリ

2021年3月1日サービス開始

歴史・地理・公民の教育コンテンツをオンラインで提供するための新しいサービスです。
歴史総合/地理総合に対応したコンテンツを2021年秋より追加予定です。
歴史の山川出版社と地理の二宮書店が、ICTを活用した授業をサポートいたします。



授業準備の時間短縮に

プリントや試験問題の作成に

ICT教育を促進

オンライン授業にも対応

アクセスはこちらから/
<https://ywl.jp/service>



法人向け定額制コース ￥77,000/年（10%税込）

個人向け定額制コース ￥1,320/月（10%税込）

サービスについてのお問い合わせは①学校名 ②先生名 ③お電話番号 ④メールアドレスを明記の上、
右記サイトの〈サービスについてのお問い合わせ〉からご連絡ください。

現代の歴史総合 みる・読みとく・考える ノート 歴総 708 準拠

B5判・136頁・2色刷



生徒自ら取り組めるよう、教科書の導入の問いを掲載し解答欄を設けています。

教科書の「テーマへのアプローチ」①～③を掲載しています。解答欄は適切なタイミングでまとめられるよう、各所に設けています。

小見出しは教科書と合わせています。

教科書本文の内容を簡潔に整理しています。重要用語は15個程度を穴埋めにしています。


3 産業革命 教 p. 28～33

教科書①の問い

- ① 上の人々と下の人々の、対照的な点は何だろうか。
- ② このような境遇の違いが生じたのはなぜだろうか。

教科書②③の問い

- ① ②③のグラフから、イギリス社会のどのような変化が読みとれるだろうか。



アメリカの雑誌に掲載された風刺画(『Puck Magazine』1883年)

テーマへのアプローチ①産業革命は、なぜイギリスで始まったのだろうか。

②産業革命は世界の結びつきをどのように強めたのだろうか。

③産業革命によって人々は豊かになったのだろうか。それとも貧しくなったのだろうか。

技術革新

1産業革命の発端
18世紀半ばから19世紀初めにかけてイギリスの(1)工業が中心

2背景

- 17世紀末の「権利の章典」で私的所有権が事実上保障される→人々の経済面での意欲が向上
- (2)貿易の確立→イギリス内に富が蓄積
- インド産綿織物(キャラコ)の人気→輸入代替工業化に商機

3展開

- 石炭を動力源とする(3)の実用化が産業革命を推進
- 紡績機械の発明が織布過程の機械化をうながすなど(4)的に技術革新が進む

アプローチ①

社会の変化

1生産の担い手
知識をもった職人から不熟練賃金労働者へ
→労働者を雇う資本家に有利な生産システムが確立=(5)主義

2労働条件の悪化
労働者の賃金水準や労働環境などは劣悪、過酷な児童労働もおこなわれる
→マルクスやエンゲルスは働く人々の境遇改善をめざす思想を展開=(6)主義

3生活条件の悪化
(7)革命によって工場を農村部にも建設できるようになる
→新たな工業都市が生まれたが、水・大気・衛生など生活環境は劣悪

他国への産業革命の普及

1他国の反応
イギリス産の安い製品の輸出増大をみて、自国経済の強化をめざす
→ベルギー・仏・米・独・日・露などで産業革命が進行：上からの(8)

- 別冊解答例は教授資料と同じものを掲載しています。
- ノートをご採用いただきますと、解答入りのPDFデータをサービスでお届けいたします。



2第2次産業革命
19世紀後半に(9)を動力源とする重化学工業へ移行
→政府主導で工業化を進める(10)と、広大な国内市場を有する(11)が中心

3経済的な世界の一体化
産業革命に至らなかった国や地域は(12)・(13)となる
→財(商品)の移動(貿易)において世界中が大きなネットワークに組み込まれていく


交通と情報の革命

1交通手段の発達
19世紀前半に蒸気船や蒸気機関車が実用化され、移動の速度や量が向上
→(14)・外国旅行・探検などが容易になる

2情報伝達手段の発達
ヒトの移動の活発化によって世界の一体化が加速
→情報の伝達速度の向上も求められるようになり(15)の敷設が進む

アプローチ②

アプローチ③



●18世紀から始まる技術革新の波は、世界をどのように変えたのだろうか？

冒頭にある「テーマ全体の問い」は、授業の最後に取り組めるよう、末尾に解答欄を設けました。

※紙面は制作中のものです。

現代の歴史総合 指導者用デジタル教科書(教材)

歴総 708 準拠

電子黒板やプロジェクター等でご利用いただく、指導者用のデジタル教科書(教材)です。学習者用と共通の専用ビューアは直感的に使いやすく、授業に便利な機能も充実しています。生徒の手元にある教科書と同じ紙面を大きな画面で投影しながら、紙面への書き込み、写真や地図・図表・グラフの拡大、動画再生などをご活用いただくことで、歴史総合の授業の幅が広がります。

体験版をぜひお試しください！
(2021年5月公開予定)

対応ブラウザ

Google Chrome、
Microsoft Edge、Safari



便利な機能① ズーム表示

紙面の一部を範囲指定して画面に拡大表示することができます。

大運河
6世紀末から7世紀初めの隋の時代に原形がつくられ、中国の南北の流通網として重要な役割を担った。

サツマイモの伝来
日本ではサツマイモ、薩摩ではリュウキュウイモ、琉球ではカライモ(唐芋)と呼び、名前の変遷がそのまま日本への伝播したルートを示している。

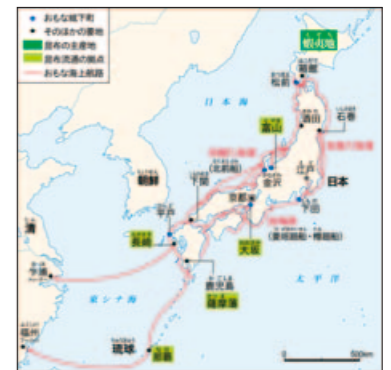
便利な機能⑤ 動画再生

オンライン環境でのご利用の際は、アイコンをクリックすることで、NHK for Schoolなどの動画コンテンツ再生ページへの画面遷移が可能です。



便利な機能⑥ 地図アプリ

拡大表示した地図では、色のついた領域・国名や地名・矢印などの図形は、それぞれ表示/非表示の切替が可能です。授業で特に見せたい要素だけを地図に示して、説明することができます。



便利な機能② Q&A

紙面の発問をクリックすることで、紙の教科書には載っていない解答例を表示することができます。(解答例の表示/非表示の切替が可能です)

図10 大坂の蔵屋敷

Q. なぜ大坂が物資の集散地となったのだろうか。

A. 西廻り海運などが整備され、年貢余剰米や特産物、納屋物などが大坂に運ばれて売却されたため。

解答例を表示

便利な機能③ 図版の拡大表示

紙面の写真・図表をクリックすることで、画面に拡大表示できます。拡大した写真・図表へ書き込みをして、注目すべきポイントをわかりやすく示すことが可能です。



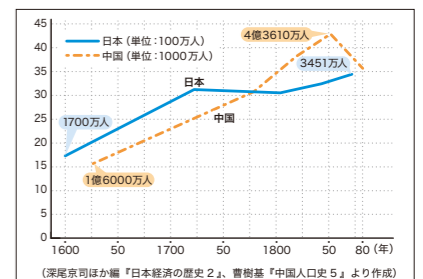
便利な機能④ 道具

タイマー(ストップウォッチ)、ふせん、めくり紙、ポインターなど、教室での授業のために用意されたさまざまな「道具」のアプリケーションが利用できます。生徒同士の話し合いの時間をとる場合にはタイマーを画面中央に大きく表示しておくことが可能です。



便利な機能⑦ グラフアプリ

拡大表示したグラフでは、それぞれのデータ系列の表示/非表示の切替が可能です。特定のデータの動きに注目してシンプルなグラフを表示することもできます。



現代の歴史総合 学習者用デジタル教科書

歴総 708 準拠

学習者用の端末でご利用いただく生徒用のデジタル教科書です。(1ユーザー1ライセンス)

指導者用と共通の専用ビューアは直感的に使いやすく、スムーズなページ遷移、紙面の拡大表示、紙の教科書を使用しているかのような書き込みが可能です。書き込んだ情報はユーザー個人ごとに保存することができます。



デジタル教科書ビューアの機能

便利な機能①

ペン＆マーカー／消しゴム

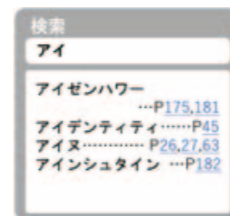
「色」「太さ」「透明度」の設定は自由に変更可能。よく使う設定を保存することもできます。「消しゴム」機能で書き直しもスピーディーに。



便利な機能②

ページ遷移／用語検索

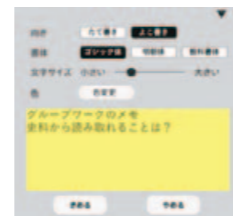
通常のページ送り、ページ数を直接入力することによるジャンプの他に、用語検索機能で掲載ページをすぐに表示することもできます。



便利な機能③

ふせん

ふせんを紙面に貼り付けて書き込みをすることができます。ふせんは小さく重ねておくこともできるため、紙面の閲覧の邪魔になりません。



体験版をぜひお試しください！
(2021年5月公開予定)

対応ブラウザ Google Chrome、
Microsoft Edge、Safari



デジタル教科書 (指導者用・学習者用) 商品概要

●デジタル教科書の基盤システムについて

デジタル教科書の提供・表示ビューアの基盤となるシステムとして「みらいスクールプラットフォーム」(<https://www.mirai-school.jp/platform/>)を採用しています。専用のビューアはiPad、Chromebook、Windows PCの各端末に対応。学校のオンライン環境に合わせて配信・提供方法をお選びいただけます。



●ライセンス体系／動作環境／提供方法／おもな機能について

	指導者用デジタル教科書 (教材)	学習者用デジタル教科書
ライセンス体系	学校内フリーライセンス ご購入いただくことで、学校内の指導者用端末で何台でもご利用が可能です。ライセンスは原則として年度ごと(4月～翌3月)の更新となります。	1ユーザー1ライセンス 必要な人数分のライセンスをご購入いただき、学習者用端末でご利用ください。紙の教科書のご利用期間中はライセンスが有効となります。
利用者端末動作環境	動作保証環境 <ul style="list-style-type: none"> ●iPad OS※ ブラウザ：Safari ●Chrome OS※ ブラウザ：Google Chrome ●Windows 8.1/10 ブラウザ：Microsoft Edge・Google Chrome ※iPad OS・Chrome OSはクラウド版、学校内サーバー版のみご利用可能。DVD版ではご利用いただけません。	
提供方法	▼クラウド版 (オンライン配信) 各利用者端末のブラウザから当社指定のクラウドサーバーにアクセスしてご利用ください。各端末へのインストールは不要ですが、ご利用の際にはオンライン環境が必要です。 ▼学校内サーバー版 学校・教育委員会等に設置されているサーバーにインストールし(インストール用のDVD-ROMを納品いたします)、各利用者端末から校内設置サーバーにアクセスしてご利用ください。 ▼DVD版 (スタンドアロン) DVD-ROMを各利用者端末に直接インストールしてご利用ください。インストール後はオフライン環境での利用が可能です。(DVD版はWindowsのみ対応となります)	
ビューアのおもな機能	<ul style="list-style-type: none"> ●デジタル紙面の閲覧、拡大表示、ページ送り、用語検索 ●ペン、マーカー、スタンプ、消しゴムを利用した書き込み／削除 ●編集した紙面データをユーザーごとに保存 ●しおり、ふせん、タイマー (ストップウォッチ)、ポインター ●外部リンクへのアクセス (紙の教科書の2次元コードに対応) 	

・紙の教科書をご採用いただいた場合に限り、対応する「指導者用デジタル教科書」「学習者用デジタル教科書」のライセンスをご購入いただくことが可能です。
 ・本資料のデジタル教科書の画面イメージ・記載内容は開発中の情報を含むため、製品版において変更になる場合があります。

著作者

(2021年3月現在・五十音順)

山川出版社の
「歴史総合」
教科書一覧



歴史総合 近代から現代へ

探究につながる詳しい記述

- 歴史の流れを詳述、信頼できる内容
- 日本史探究・世界史探究とのつながりを意識
- 歴史の着眼点となる問いを設定



現代の歴史総合 みる・読みとく・考える

深める歴史 テーマ・資料・問いで考える

- 社会の特質や構造を捉える44のテーマ学習
- 深い学び、考える授業の実現
- グループワークに最適！ 様々な問いを設定



わたしたちの歴史 日本から世界へ

見開き47テーマ ビジュアルで楽しく学ぶ

- 厳選された見開き2ページ完結の47テーマ
- 現場目線の楽しい工夫
- 身近な歴史から世界をみる

小豆畑 和之 (あずはた かずゆき)

東京都立西高等学校教諭

世界史教育
● 歴史総合



小田中 直樹 (おだなか なおき)

東北大学教授

フランス社会経済史
● 現代の歴史総合



澤野 理 (さわの おさむ)

神奈川県立逗子高等学校教諭

世界史教育
● わたしたちの歴史



津野 雄彦 (つの たけひこ)

東京都立戸山高等学校教諭

日本史教育
● わたしたちの歴史



野崎 雅秀 (のざき まさひで)

東京大学教育学部附属中等教育学校教諭

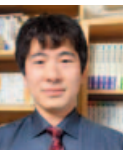
日本史教育
● 歴史総合



丸山 優介 (まるやま ゆうすけ)

東京都立翔陽高等学校教諭

日本史教育
● わたしたちの歴史



荒木 圭子 (あらかぎ けいこ)

東海大学准教授

アフリカ史
● 現代の歴史総合



勝田 俊輔 (かつた しゅんすけ)

東京大学教授

アイルランド近代史
● 歴史総合



塩出 浩之 (しおで ひろゆき)

京都大学准教授

日本近現代史・
政治史
● 現代の歴史総合



津野田 興一 (つのだ こういち)

東京都立日比谷高等学校教諭

世界史教育
● 現代の歴史総合



福本 淳 (ふくもと じゅん)

栄光学園中学高等学校教諭

世界史教育
● わたしたちの歴史



守川 知子 (もりかわ ともこ)

東京大学准教授

西アジア史
● 現代の歴史総合
● わたしたちの歴史



池田 嘉郎 (いけだ よしろう)

東京大学准教授

ロシア近現代史
● 歴史総合



仮屋園 巖 (かりやその いわお)

東京都立国立高等学校教諭

世界史教育
● 歴史総合



島田 竜登 (しまだ りゅうと)

東京大学准教授

南アジア史・
東南アジア史
● 歴史総合
● 現代の歴史総合



長井 伸仁 (ながい のぶひと)

東京大学准教授

フランス近代史
● わたしたちの歴史



藤本 和哉 (ふじもと かずや)

筑波大学附属高等学校教諭

世界史教育
● 現代の歴史総合



安田 智昭 (やすだ ともあき)

三輪田学園中学校・高等学校教諭

日本史教育
● わたしたちの歴史



板垣 暁 (いたがき あきら)

北海学園大学教諭

日本経済史
● わたしたちの歴史



岸本 美緒 (きしもと みお)

お茶の水女子大学名誉教授

中国明清史
● 歴史総合



島津 聡 (しまつ さとし)

東京都立八王子東高等学校教諭

日本史教育
● 現代の歴史総合



中家 健 (なかいえ たけし)

東京都立小石川中等教育学校教諭

日本史教育
● 歴史総合



古川 隆久 (ふるかわ たかひさ)

日本大学教諭

日本近代・現代史
● 歴史総合



山川 志保 (やまかわ しほ)

お茶の水女子大学附属高等学校教諭

世界史教育
● 現代の歴史総合



市川 大祐 (いちかわ だいすけ)

北海学園大学教諭

日本経済史
● わたしたちの歴史



久保 文明 (くぼ ふみあき)

東京大学教授

アメリカ政治史
● 現代の歴史総合



鈴木 淳 (すずき じゅん)

東京大学教諭

日本近代史
● 歴史総合



中村 尚史 (なかむら なおふみ)

東京大学教諭

日本近代史・経済史
● 現代の歴史総合



牧原 成征 (まきはら せいゆき)

東京大学准教授

日本近世史
● 歴史総合



吉澤 誠一郎 (よしざわ せいいちろう)

東京大学教諭

中国近代史
● 現代の歴史総合
● わたしたちの歴史



老川 慶喜 (おいかわ よしのぶ)

立教大学名誉教授

日本近代・現代史
● 歴史総合



小松 久男 (こまつ ひさお)

東京大学名誉教授

中央アジア近現代史
● 歴史総合



高橋 哲 (たかはし あきら)

渋谷教育学園幕張中学校・高等学校教諭

日本史教育
● 現代の歴史総合



中山 拓憲 (なかやま たくのり)

神奈川県立湘南高等学校教諭

世界史教育
● わたしたちの歴史



松本 英治 (まつもと えいじ)

開成中学校・高等学校教諭

日本史教育
● 歴史総合



渡邊 宏明 (わたなべ ひろあき)

浅野中学校・高等学校教諭

日本近代史
● わたしたちの歴史



令和4年度用「歴史総合」教科書

歴史総合 近代から現代へ

探究につながる詳しい記述

- 歴史の流れを詳述、信頼できる内容
- 日本史探究・世界史探究とのつながりを意識
- 歴史の着眼点となる問いを設定

- 254ページ
- 写真283点
- 地図73点
- グラフ・図表112点
- 文字資料55点
- 2次元コード19点



現代の歴史総合 みる・読みとく・考える

深める歴史 テーマ・資料・問いで考える

- 社会の特質や構造を捉える44のテーマ学習
- 深い学び 考える授業の実現
- グループワークに最適！ 様々な問いを設定

- 262ページ
- 写真555点
- 地図112点
- グラフ・図表178点
- 文字資料177点
- 2次元コード16点



わたしたちの歴史 日本から世界へ

見開き47テーマ ビジュアルで楽しく学ぶ

- 厳選された見開き2ページ完結の47テーマ
- 現場目線の楽しい工夫
- 身近な歴史から世界をみる

- 182ページ
- 写真301点
- 地図87点
- グラフ・図表100点
- 文字資料54点
- 2次元コード10点



小社ホームページでもご案内いたしております。
歴史総合教科書の紹介動画もございますので、ぜひご覧ください。

山川HP
歴史総合
特設サイト



山川出版社

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-13
TEL 03-3293-8131 FAX 03-3292-6469

<https://www.yamakawa.co.jp/>